

チューリップ微斑モザイク病および条斑病の 総合防除マニュアル

富山県農林水産総合技術センター
園芸研究所
平成26年3月

目 次

1. チューリップ微斑モザイク病、条斑病とは ……1
2. チューリップ微斑モザイク病および条斑病の防除対策……6
3. 施肥法の改善によるチューリップ微斑モザイク病および条斑病の発病抑制技術 ……10
4. チューリップ微斑モザイク病および条斑病の総合防除の例……15
5. 微斑モザイク病と条斑病に対する品種抵抗性と微斑モザイク病の病徴発現部位 ……巻末

20140320

本マニュアルは、農林水産省 農林水産業・食品産業研究推進事業「根圏環境制御による土壌菌媒介性ウイルス病害の発病抑制技術の開発」(平成 23 年～平成 25 年)および指定試験事業「持続型農業技術開発指定試験」(平成 13 年～平成 22 年)、「球根病害指定試験」(昭和 46 年～平成 12 年)の研究成果として作成されたものです。

内容を無断で複製・転載することを禁じます。

お問い合わせは、下記まで

富山県農林水産総合技術センター園芸研究所花き課

〒939-1327 砺波市五郎丸 288

TEL0763-32-2259、FAX0763-33-2476

1. チューリップ微斑モザイク病、条斑病とは

①微斑モザイク病の病徴

健全な品種を維持するには病株の抜き取りが欠かせません。特に、微斑モザイク病の場合、品種によって見るポイントが違うので、品種ごとの病徴特性を把握しておくことがとても重要です。花と葉の病徴を的確に捉えて抜き取りましょう。

● 花の病徴を識別するポイント

微斑モザイク病の花の病徴は、蕾の退色斑と開花後の増色斑とがあります。品種によって両方出たり、片方しか出なかったりします。また、病徴は一部の花卉にのみ出る場合があります。畝の両側から観察しましょう。



図1 蕾の退色斑（紅輝、紅獅子、ブラックヒーロー）



図2 開花後の増色斑（紫水晶、アキタ）



図3（左）3枚の花弁のみ病徴、（右）全部の花弁に病徴（ケスネリス）

● 葉の病徴を識別するポイント

微斑モザイク病の葉の病徴は、茎葉黄化期（開花後 20～40 日）の間、明瞭な退緑斑や紫斑を生じ、枯れ上がりが早まるので比較的容易に識別することができます。白色と黄色品種は花に病徴がでないので、葉で識別します。



図 4 開花前の葉の病徴

葉脈に沿って楕円形～紡錘形の淡い退緑斑が生じ、これが集まって淡いモザイク症状を呈します。



図 5 茎葉黄化期（開花後 20～40 日）の微斑モザイク病の病徴

品種によっては球根腐敗病（フザリウム）に類似した枯れ上がり方をします。

（枯れ上がりが早まり、収量にも影響）

● 注意事項

1. 花の病徴

- ・ 蕾の退色斑は開花後に消えることがあるので、観察時期をのがさないようにしましょう。
- ・ 増色斑の有無を十分に観察した後に摘花しましょう。
- ・ 一部の花卉にのみ病徴が出ることが多いので、畝の両側から観察しましょう。

2. 葉の病徴

- ・ 茎葉黄化期の病徴は、開花 40 日以上経つと、自然な枯れ上がりとは識別するのが難しくなります。

3. 品種ごとの病徴は園芸研究所のホームページで見ることができます。

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1661/ennken/enkentop080401.html>

②条斑病の病徴

条斑病は球根伝染率が高く、抜き取りの不徹底は確実に感染球の増加につながります。微斑モザイク病のように品種によって病徴が大きく異なることはありませんが、軽微な病徴は見落としやすいので注意が必要です。また感染した圃場では発病せず、感染した球根を植付けることで翌年以降に病徴が現れます。

●葉の病徴を識別するポイント

本ウイルスの感染球根を植付けると、萌芽期から病徴が見られます。葉に黄色ないし黄緑色の条斑が葉脈に沿って生じます。退色部分がピンク～赤に着色することがあります。重症株では葉の表側、裏側両方に病徴が見られ、株全体が萎縮します。

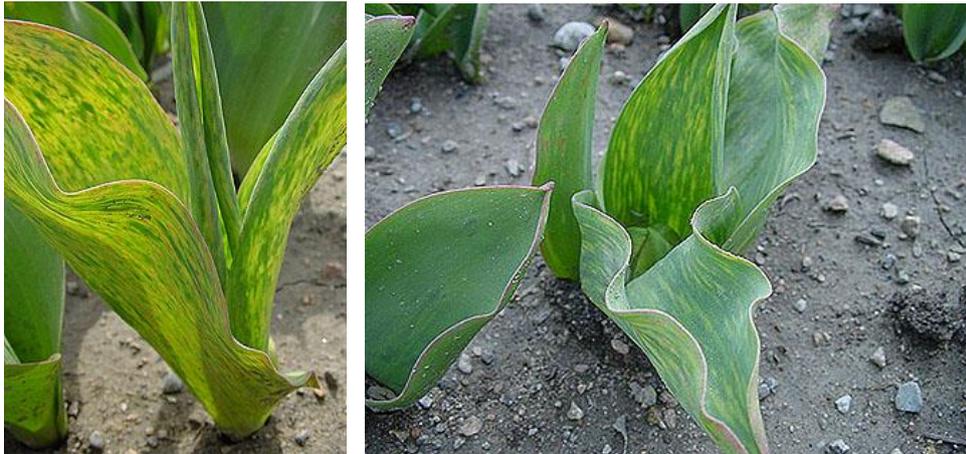


図6 萌芽時の葉の病徴
葉脈に沿って細い退緑条線が見られます。



図7 生育期の葉の病徴
葉の一部または全面に黄～黄緑色の条線が見られます。葉の1枚に1、2本の条線しか生じないことがありますので、見落とさないようによく観察しましょう。

③発生生態

1)伝染方法

微斑モザイク病と条斑病は、両方とも球根と土壌で伝染します。 ウイルスを伝搬するのは土壌中に生息するオルピディウム菌です。

オルピディウム菌はどの圃場にも生息しています。 ウイルスに感染した球根を植付けると、その根にオルピディウム菌が寄生してウイルスを獲得し、圃場がウイルス汚染圃場になります。

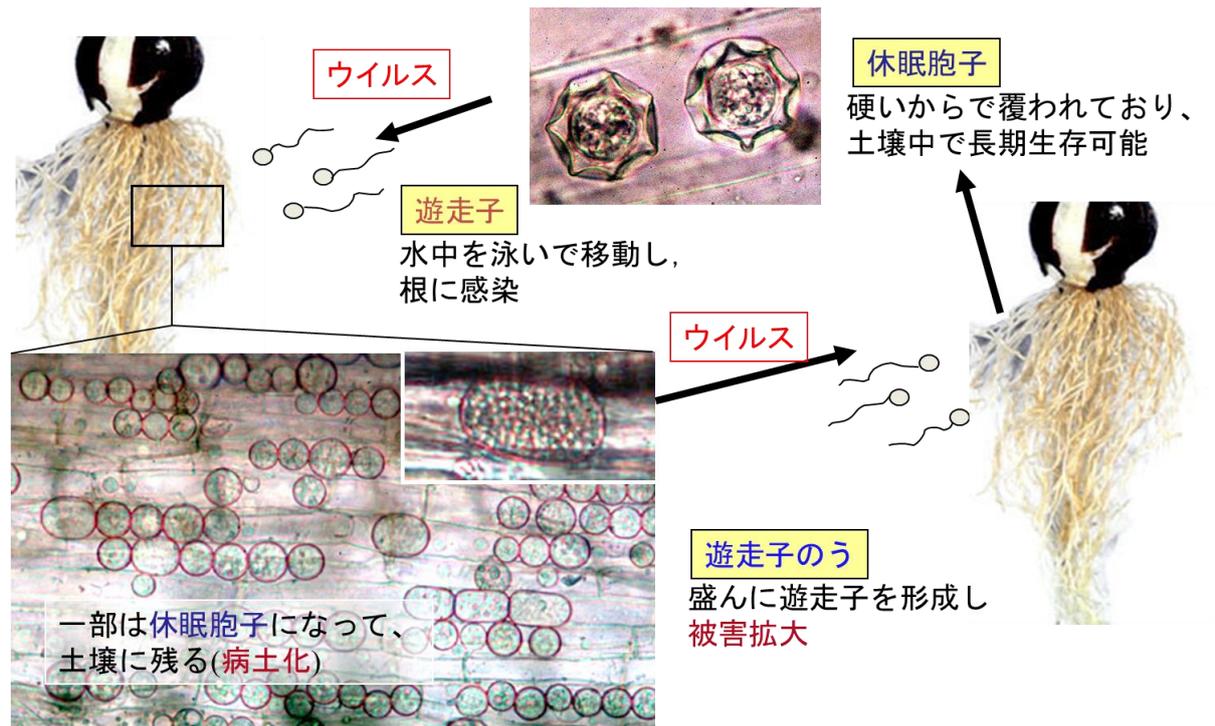


図8 オルピディウム菌の生活環

チューリップを植付けると、①土壌中のオルピディウム菌の「休眠孢子」から「遊走子」が放出され、チューリップの根に感染します。②根では「遊走子のう」がたくさん形成されます。「遊走子のう」から「遊走子」が放出され、別のチューリップに感染します。③根に感染した「遊走子」の一部は「休眠孢子」になり、土壌に残ります。ウイルスに感染した球根を植付けると、オルピディウム菌がウイルスに感染し、ウイルスを「遊走子」が媒介したり、「休眠孢子」が土壌に残って病土化します

微斑モザイク病と条斑病の伝染方法は似ていますが、以下のような点で異なります。

- ・微斑モザイク病は品種によっては球根伝染率が極端に低い。
- ・条斑病は汚染土に植付けてもすぐに発病せず、収穫球を植付けると発病する。

表1 微斑モザイク病と条斑病の球根伝染率と発病の関係

	球根伝染率	病土植付け後の発病
微斑モザイク病	0~100%	翌春以降
条斑病	ほぼ100%	翌々春以降

2)圃場汚染の出発点

- ①ウイルス感染球根の植付け
- ②農業機械などによる土の移動
- ③圃場に残した根や古皮

3)発生要因

両病害の発生に最も強く影響するのは、

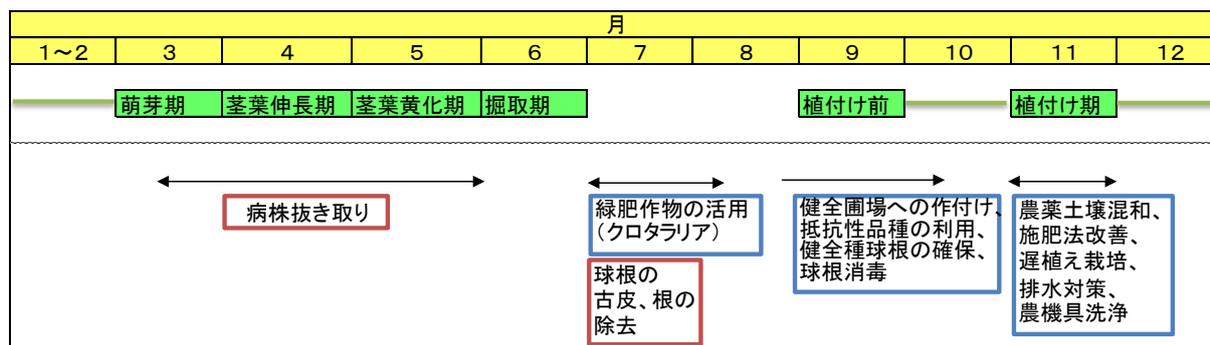
- 種球根の汚染程度
- 圃場の汚染程度
- 品種抵抗性

そのほかに、以下に示すような環境要因が影響します。いずれも媒介菌であるオルピディウム菌の特性に依存しています。

表 2 微斑モザイク病と条斑病の発生に影響する環境要因

要因	発生を助長	発生を抑制
基肥	窒素成分 多肥	
土壤湿度	多湿	乾燥
土壤 pH		pH5.0 以下
地温	15℃以上	10℃以下
植付け時期	標準 (10 月)	遅植え (11 月中旬以降)
輪作年限	短い	長い

2. チューリップ微斑モザイク病および条斑病の防除対策



青枠は1年目、赤枠は2年目に実施する防除対策

① 病株の抜き取り

病株の抜き取りは極めて重要です。種球根のウイルス感染率が一定レベル以上に達すると防除ができなくなります。また、病株は健全な株に病気を移し、圃場を汚染します。1～3ページの病徴を参考に、病株の抜き取りを徹底しましょう。

② 抵抗性品種の利用

本病に対する最も有効な防除手段になります。品種の抵抗性は、巻末の表を参考にして下さい。抵抗性の弱い品種は他の個別防除技術をあわせて総合的に防除する必要があります。

また、抵抗性強品種は抵抗性弱品種に比べ、圃場の汚染程度を高めません(表3)。抵抗性品種の利用は持続的な安定生産に有効です。

表3 前作品種が次作(ラッキーストライク)の微斑モザイク病の発生に及ぼす影響

前作		次作
品種	感染株率(%)	ラッキーストライク 感染株率(%)
紅輝(極弱)	74.2	→ 29.6
ラッキーストライク(極弱)	83.1	→ 26.7
プリシマ(中)	13.9	→ 11.1
ピンクインプレッション(中)	47.2	→ 6.7
紫水晶(弱)	45.5	→ 4.4
ベンバンザンテン(強)	0	→ 4.4
春乙女(極強)	0	→ 4.4

注) 汚染土(ポット)に各品種を作付け後、水稲1作し、ラッキーストライクを植付け。()内は微斑モザイク病に対する抵抗性程度

③ 健全な種球根の厳選

ウイルス感染した球根の植付けは、両病害の発生に最も強く影響します。また、圃場のウイルス汚染を招きます。外観が健全でもウイルスの感染が疑われる球根は、健全球根とは別管理にし、植付け圃場を分けるようにします。

ウイルス診断法(TBIA: Tissue blot immunoassay) (図 9)

球根のウイルス診断は、開花期の花茎を用いて TBIA 法で行います (1 品種 200 本)。現在、微斑モザイク病、条斑病の他に、モザイク病 (ブレーキング)、LSV、TVX (エックス) などの感染率を調べることができます。正確なウイルス感染率を知ることによって、各種ウイルス病の発生状況や健全な種球根の確保が可能になります。



図 9 TBIA 法によるウイルス検出。(左) 結束した花茎の切断面をスタンプし、(右) ウイルス抗血清と反応させて検出した様子。紫色に発色したチュールリップがウイルスに感染

④健全な圃場への作付け

土壌中にウイルスを保毒したオルピディウム菌が 10 年以上残ります。ひどく発生した圃場では、抵抗性品種を栽培するようにします。また、健全圃場や輪作年限が長い圃場に作付けすることにより、本病の発生を抑えることができます。病害の発生履歴を勘案して抵抗性品種を選定しましょう。

⑤農薬の土壌混和

本病に対してフロンサイドが有効です (図 10)。剤型として、粉剤、水和剤、フロアブル (SC) があり、ブームスプレーヤなどの機械装備や作業状況に応じて散布方法を選択できます。使用法は、耕起前にフロンサイド粉剤 (40kg/10a) を、あるいはフロンサイド水和剤 (600g/10a) およびフロンサイド SC (500ml/10a) は 10a 当たり 100L の水で希釈し、地表面に散布して土壌混和します。

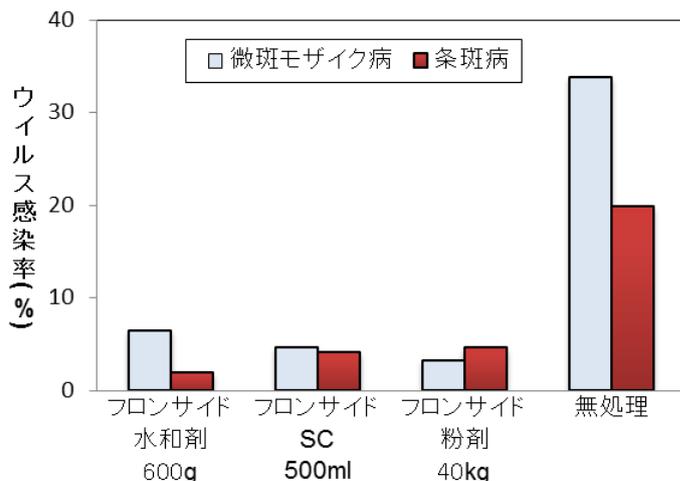


図 10 フロンサイドの微斑モザイク病と条斑病に対する防除効果

品種 ラッキーストライク。フロンサイド水和剤とフロンサイド SC は 10a 当たり水 100L に溶解して表面散布後、土壌混和

⑥遅植え栽培

11月中旬以降に遅植えすると微斑モザイク病および条斑病の発生が減少します(図11)。これは地温が10℃以下に低下すると、ウイルスを運ぶオルピディウム菌の活動がにぶくなり、チューリップへの感染が少なくなるためと考えています。

大規模栽培などでやむを得ず早植えをする場合、抵抗性の強い品種から植付け、弱い品種はできるだけ遅く植付けるようにすると病害の発生の減少が期待できます。

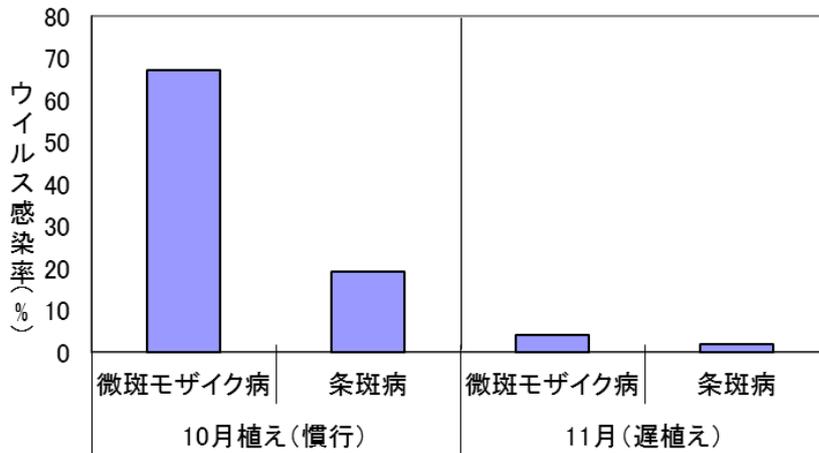


図11 植付け時期が微斑モザイク病と条斑病の発生に及ぼす影響.

品種 紅輝. 発生圃場での試験. 10月植えは慣行法により、11月植えは整畦植え込み機を使用

遅植え栽培の効果を維持するには

両ウイルス病が発生しやすい圃場に植付ける場合、11月の遅植え栽培が両病害の防除に有効でした(図12)。ただし、球根伝染しやすい品種‘紅輝’では、3作目以降の遅植え区においても発生が増加してしまいます。病株の抜き取り等の基本防除技術や抵抗性品種など総合的な防除対策を同時に行う必要があります。

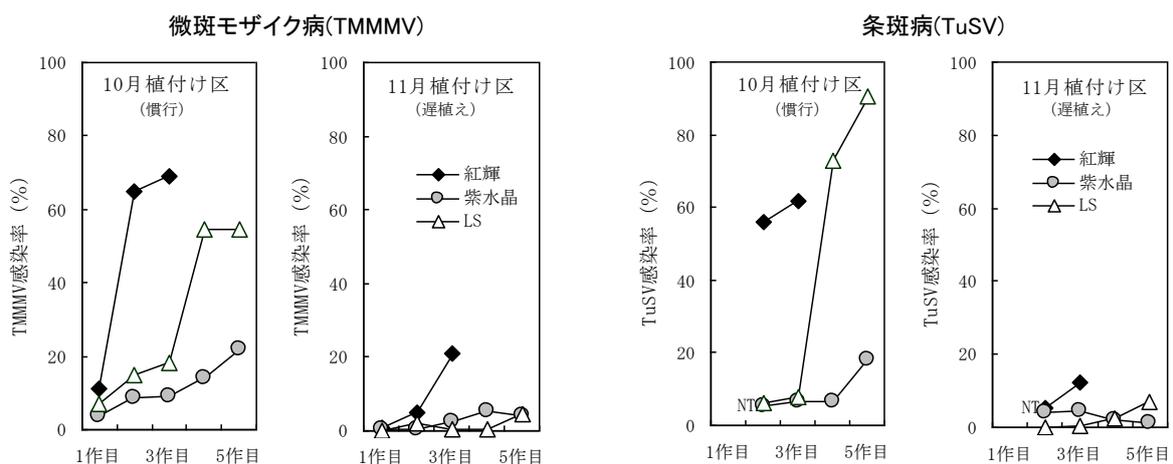


図12 植付け時期の違いが微斑モザイク病と条斑病の発生に及ぼす影響

注)LS:ラッキーストライク. 植付けには整畦植え込み機を使用.

同一ロットを発病株の抜き取りをせずに発生圃場で5作

⑦緑肥作物の活用

夏期にクロタラリアを栽培し、鋤込むことで本病の発生を抑えることができます(図 13)。

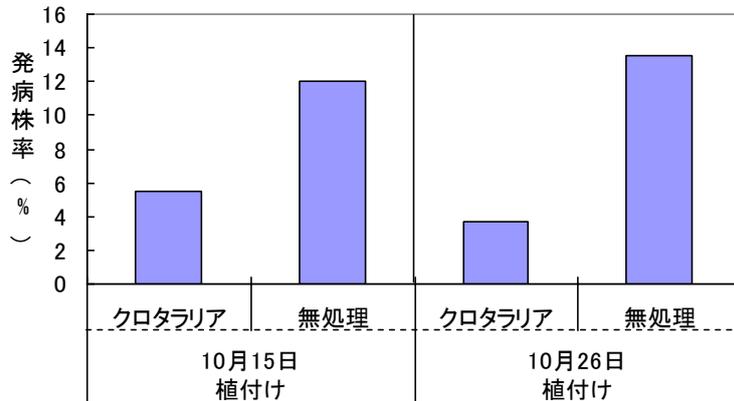


図 13 夏期の輪作作物が微斑モザイク病の発生に及ぼす影響(現地試験)

品種 ラッキーストライク. クロタラリアは 6 月 15 日播種、8 月 6 日鋤込み.

施肥慣行

⑧施肥法の改善(基肥窒素の肥効抑制)

施肥条件の違いが両病害の発生に強く影響します。具体的には慣行栽培(フミンホスカ、基肥 60kg/10a、12 月追肥 20kg/10a)よりもバルブクイーンの基肥施用あるいはフミンホスカの 12 月施用によりチューリップ微斑モザイク病および条斑病の発生が減少します。詳しくは 10 ページ以降を参考にしてください。

3. 施肥法の改善によるチューリップ微斑モザイク病および条斑病の発病抑制技術

施肥の時期や量を変えることで両病害の発生を抑制するとともに、慣行施肥並の球根収量を得る方法（基肥一発、12月施用）を明らかにしました。

表 4 施肥基準(10a あたり施用量)

	10月	11月	12月
慣行施肥	フミンホスカ 基肥60kg		フミンホスカ 20kg
基肥一発	バルブクイーン 基肥36kg		
		バルブクイーン 基肥30kg	
12月施用			フミンホスカ 40kg

注) 品種や圃場に応じて施肥量を増減する必要があるため、新たに実施する場合は指導機関に相談して取り組むことが望ましい。フミンホスカ(N-P-K=9-12-18)、バルブクイーン(N-P-K=15-9-17)

施肥条件の違いがオルピディウム菌を介した両ウイルスの感染に強く影響し、特にバルブクイーンの基肥施用、または窒素成分の肥効を遅らせることで、両ウイルス感染率が低下します。

1) 施肥方法の違いが両ウイルスの感染に与える影響

- ① バルブクイーンの基肥施用により、開花期の両ウイルス感染率は慣行施肥（フミンホスカの基肥・追肥施用）と比較して有意に低下します(図 14)。

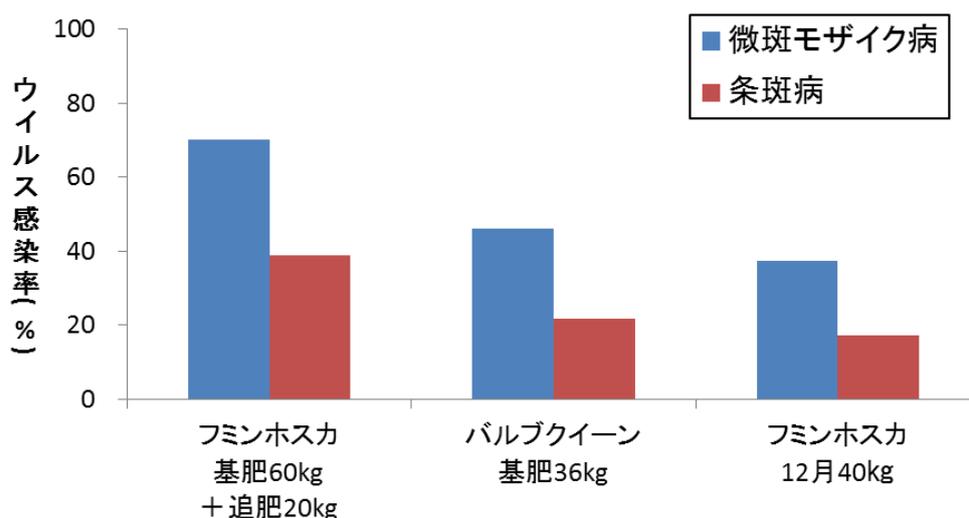


図 14 施肥の種類と時期がチューリップ微斑モザイク病と条斑病の発生に与える影響
品種 ピンクダイヤモンド. 現地圃場に植付け、開花期に花茎を採集して TBIA 法により調査

- ② フミンホスカと同量の窒素・リン酸・カリとなるよう単肥を混合して施用しても両ウイルスの感染率は変わらないが、窒素を除くと感染率が低下します（図 15）。

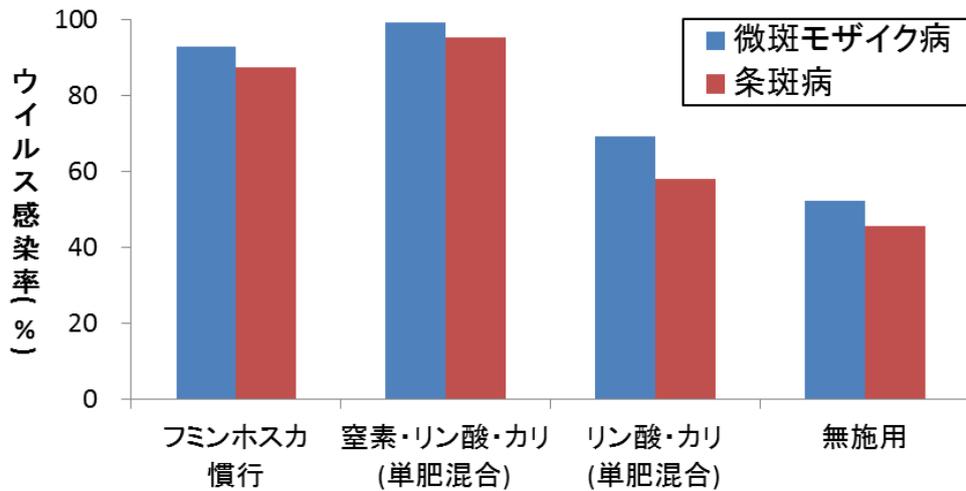


図 15 肥料成分がチューリップ微斑モザイク病と条斑病の発生に与える影響

品種 ラッキーストライク. 窒素、リン酸、カリはフミンホスカと同量となるように混合して基肥および追肥施用。現地圃場に植付け、開花期に花茎を採集して TBIA 法により調査

- ③ フミンホスカの施肥時期を比較すると、基肥のみ施用しても感染率は低下しませんが、追肥時期の 12 月に施用すると感染率が低下します（図 16）。

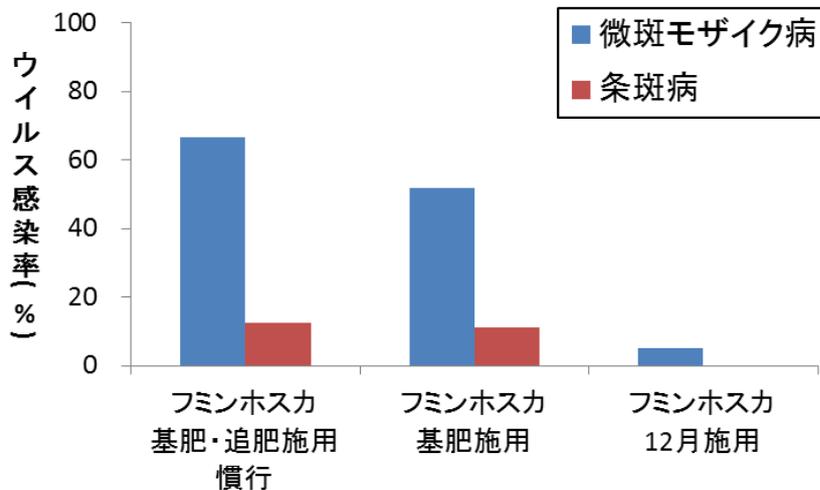


図 16 フミンホスカの施肥時期がチューリップ微斑モザイク病と条斑病の発生に与える影響

品種 ラッキーストライク. フミンホスカを慣行量施用。現地圃場に植付け、開花期に花茎を採集して TBIA 法により調査

- ④ フロンサイドの土壌混和処理と併用すると、さらに効果が高まり、両感染率は減少します。

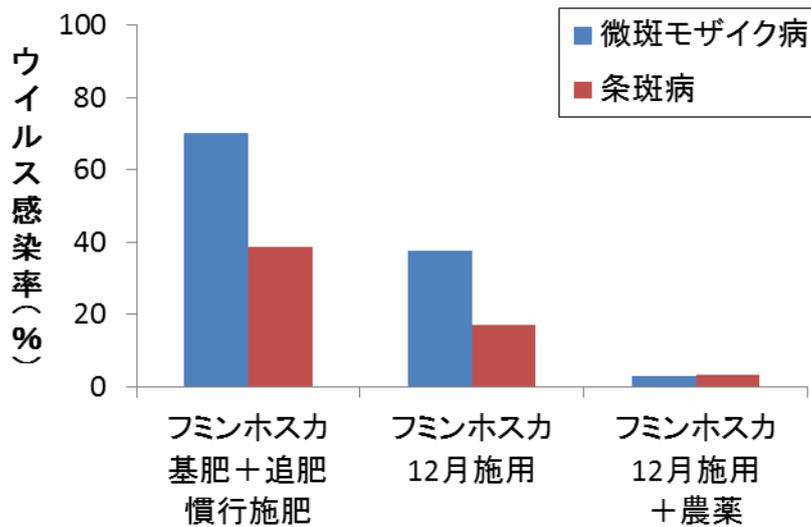


図 17 フミンホスカの 12 月施用とフロンサイドの併用がチューリップ微斑モザイク病と条斑病の発生に与える影響

品種 ピンクダイヤモンド. 慣行施肥:フミンホスカ基肥 60kg/10a、12月追肥 20kg/10a、フミンホスカ 12月施用:40kg/10a、農薬:フロンサイド水和剤. 現地圃場に植付け、開花期に花茎を採集して TBIA 法により調査

- ⑤ 植付け 1 ヶ月後のチューリップ根中のオルピディウム菌量は、慣行施肥で無施肥の 10 倍、微斑モザイクウイルス量は 3 倍、条斑ウイルス量は 5 倍でした (図 18)。

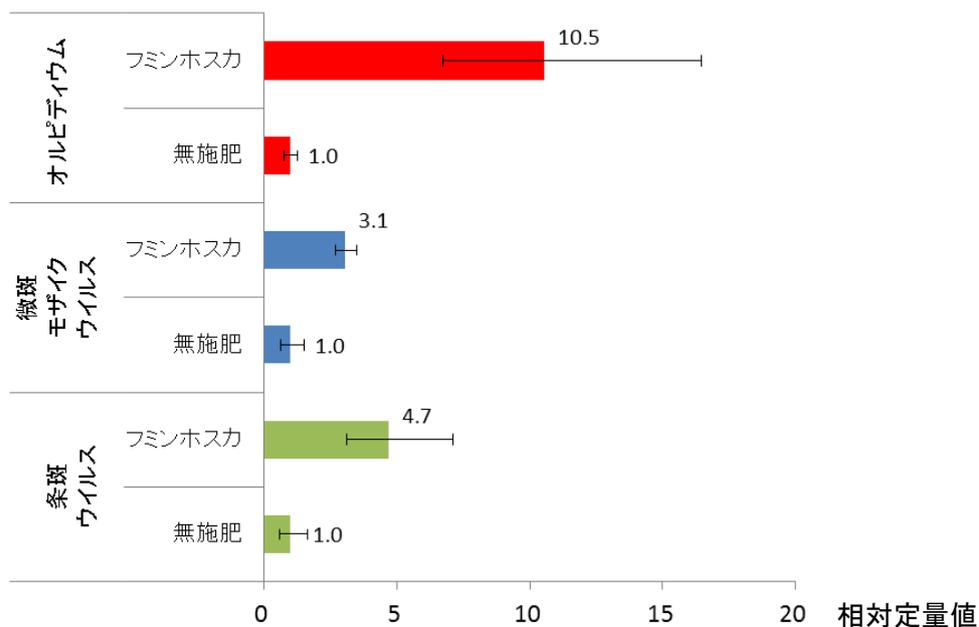


図 18 フミンホスカがチューリップ微斑モザイク病と条斑病の根の感染に与える影響(ポット試験)

品種 ラッキーストライク. 現地発病土にフミンホスカを慣行量施用して植付け、1 ヶ月後に根中のオルピディウムおよび両ウイルスの寄生量をリアルタイム PCR 法で定量

2) 実用的な施肥技術の開発

改良した施肥法が異なった品種や地域の球根収量に与える影響を調査した結果、

- ① 両病害に対する品種抵抗性の強弱に関係なく、両ウイルス感染率が減少しました (図 19)。

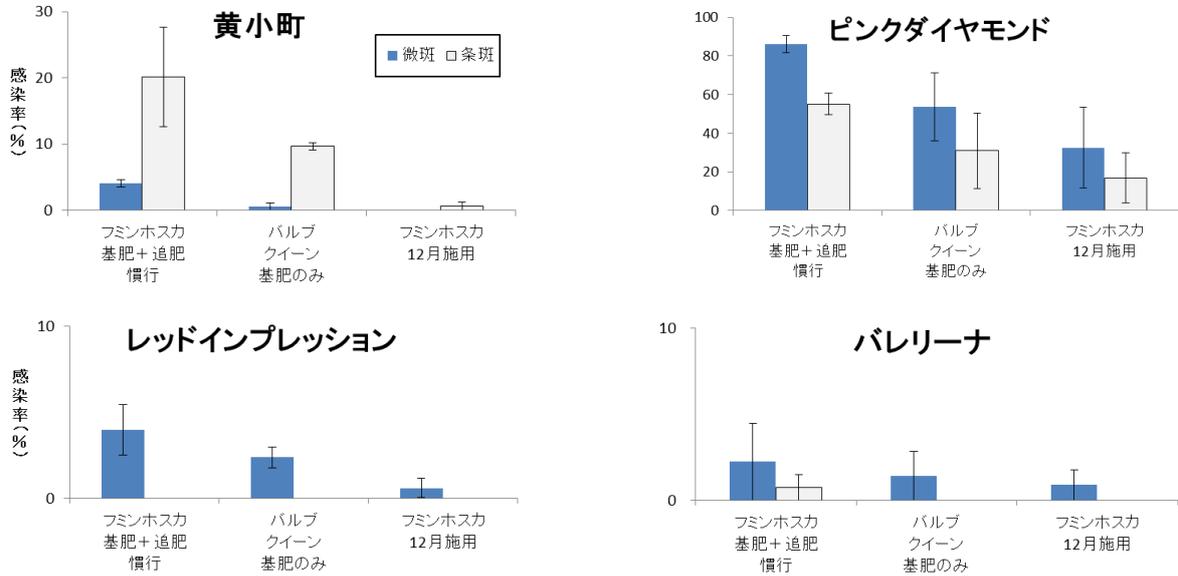


図 19 施肥法の違いがチューリップ微斑モザイク病と条斑病の発生に与える影響(砺波市現地圃場)
 品種 黄小町(微斑モザイク病抵抗性:強、条斑病抵抗性:極弱)、ピンクダイヤモンド(極弱、中)、レッドインプレッション(極弱、極強)、バレリーナ(極強、極強)

- ② 慣行施肥に対して、窒素成分がバルブクイーン基肥施用で 25%減、フミンホスカ 12 月施用で 50%減になりますが、砺波市の現地試験において、球根収量(総球重)や球根の肥大(1 等球比率)はほぼ同等かそれ以上になりました。

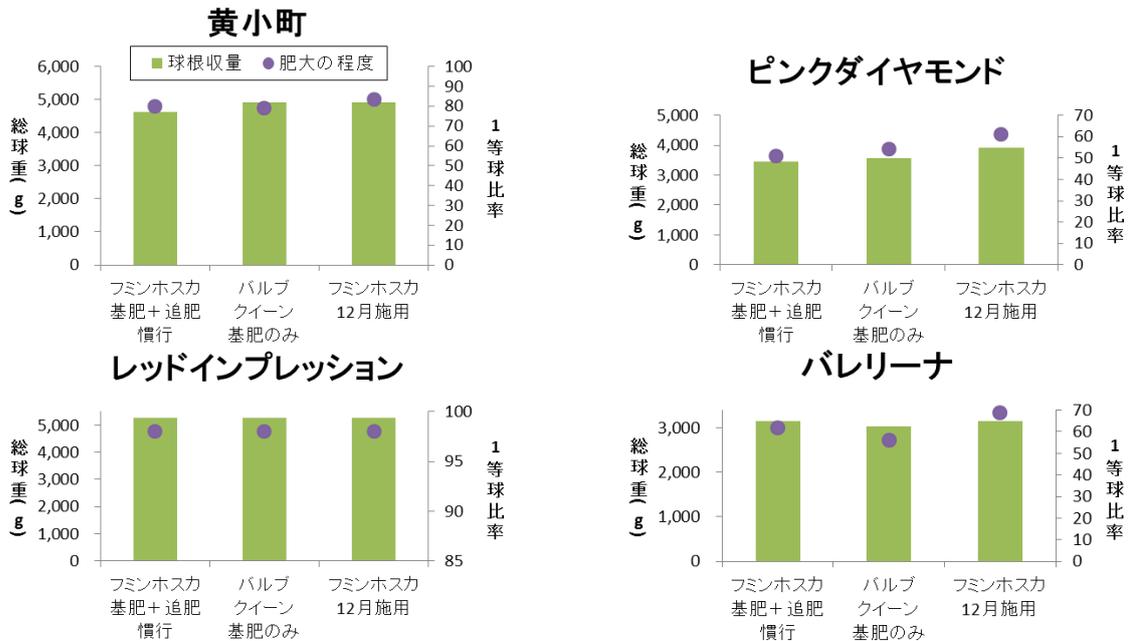


図 20 施肥法の違いが 100 株当たり収量に与える影響(砺波市現地圃場)

- ③ また、2カ年現地10圃場で球根収量調査（品種 黄小町）を行った結果、砺波市2カ所、立山町の試験において、慣行施肥と比べて球根収量（総球重）、肥大の程度（1等球比率）は、バルブクイーン施用やフミンホスカ12月40kg施用で、ほぼ同等でした（図21）。しかし、高岡市や入善町の試験では、フミンホスカの12月施用で子球数や子球重が低下したため、総球重が慣行施肥の20%減になる場合があります。入善町の現地試験では、バルブクイーンを施用した場合が最も収量がよくなりました。

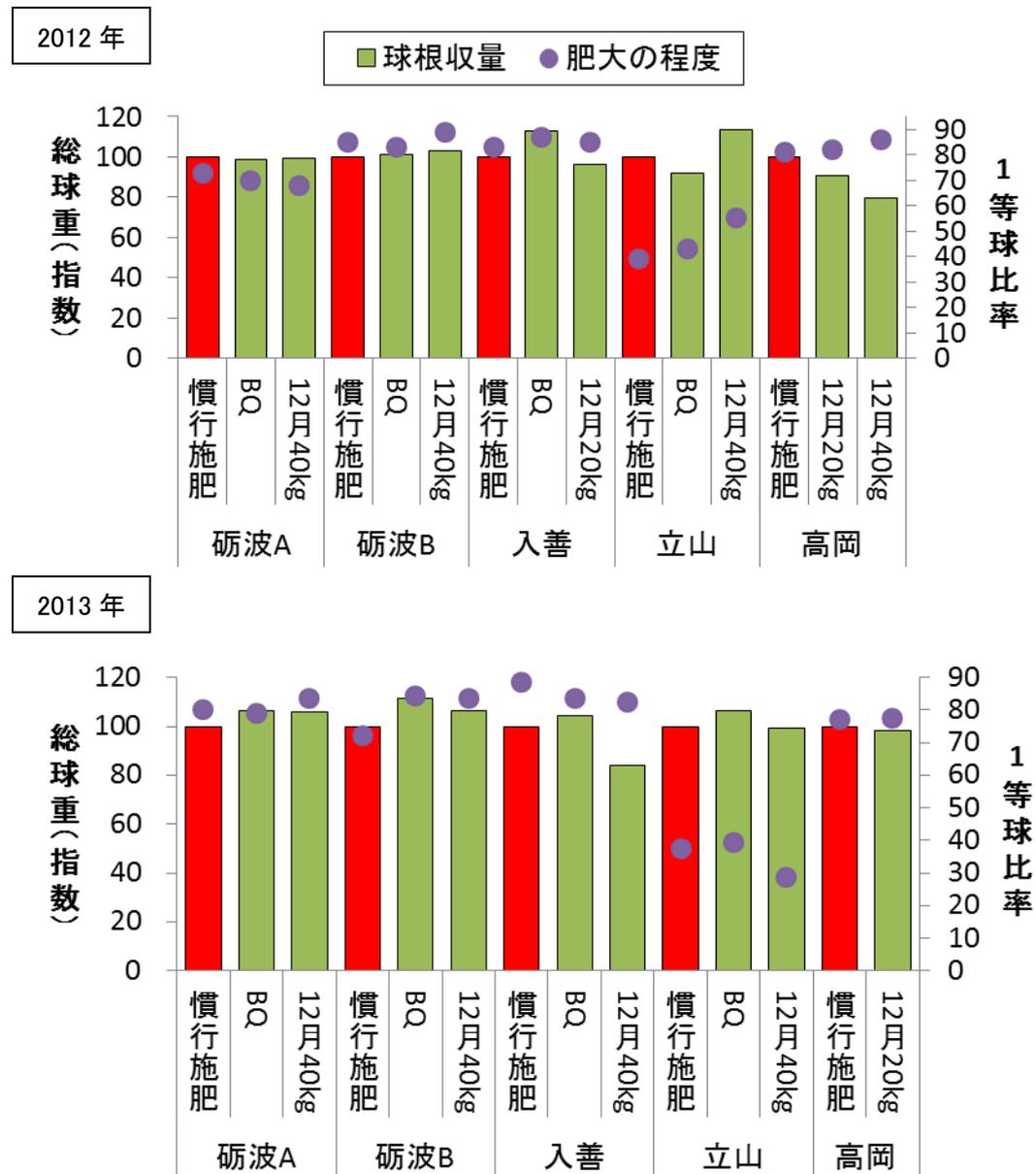


図21 施肥法の違いが球根収量に与える影響（現地圃場）

品種 黄小町。慣行施肥：フミンホスカ基肥 60kg/10a+12月追肥 20kg/10a、BQ：バルブクイーン 36kg/10a、12月40kg/10a（フミンホスカ）。総球重は、圃場ごとに慣行施肥を100とした場合の指数を示す

4. チューリップ微斑モザイク病および条斑病の総合防除の例

抵抗性品種、施肥法、農薬を組合せることで、両病害の多発生圃場においても発生を完全に抑制し、慣行栽培並みの収量を得ることができます。

現地圃場において、感受性品種‘ピンクダイヤモンド’を慣行施肥で栽培すると微斑モザイクウイルスが70.1%、条斑ウイルスが38.8%感染する条件で、抵抗性品種‘バレリーナ’を植付け前にフロンサイド水和剤を土壌混和し、フミンホスカを基肥なし、12月施用することで両ウイルスの感染を完全に抑えることができました。(表5)

試験方法

- 1) 試験場所：生産者圃場（砺波市）
- 2) 供試品種：ピンクダイヤモンド（微斑モザイク病抵抗性 極弱、条斑病抵抗性 中）
バレリーナ（極強、極強）
- 3) 試験区：慣行施肥 フミンホスカ基肥 60kg/10a、追肥 20kg/10a
BQ施用 バルブクイーン基肥 36kg/10a
12月施用 フミンホスカ 40kg/10a
農薬 フロンサイド水和剤
- 4) 耕種概要：植付け前日（10月19日）にフロンサイド水和剤を100Lの水に希釈し、土壌表面に散布後、耕起。植付け10月20日、6条9cm間隔。基肥10月19日、追肥12月1日
- 5) 調査：開花期に花茎を採集し、血清診断法（TBIA）によりウイルス感染率を調べた。また、掘り取った球根の収量調査を行った。

表5 施肥法改善と農薬による体系処理がウイルス感染率および球根収量に与える影響

品種	処理 ¹⁾	ウイルス感染率(%)		100株当たり				1等球比率 ²⁾	腐敗球率(%)	裂皮球率(%)
		微斑モザイクウイルス	条斑ウイルス	子球数	主球重	子球重	総球重			
ピンクダイヤモンド ³⁾ (極弱、中)	慣行施肥	70.1	38.8	521	1560	1909	3469	31	0.8	30.4
	BQ36kg施用	46.1	21.6	529	1489	1670	3159	28	0.7	27.4
	12月40kg施用	37.5	17.2	557	1532	1909	3441	34	1.6	32.1
	12月40kg施用+農薬	3.0	3.1	546	1802	2139	3941	48	0.0	26.0
バレリーナ (極強、極強)	慣行施肥	2.2	0.7	269	2093	1063	3156	62	7.3	39.2
	BQ36kg施用	1.4	0.0	269	1992	1041	3033	56	8.2	39.9
	12月40kg施用	0.9	0.0	261	2171	978	3149	69	18.1	38.7
	12月40kg施用+農薬	0.0	0.0	272	2150	1050	3200	71	7.6	37.1

1) 慣行施肥：フミンホスカ基肥60kg/10a、12月追肥20kg/10a施用、BQ施用：バルブクイーン基肥36kg/10a施用、12月施用：フミンホスカ12月40kg/10a施用、農薬：フロンサイド水和剤土壌混和。2) 100株当たり換算した主球数にサイズごとの係数を乗じた値の和。売上げ=単価×収穫球数×1等球比率/100。3) 微斑モザイク病及び条斑病抵抗性を5段階(極弱、弱、中、強、極強)で表す。

注意！！ 抵抗性の評価は今後変わる可能性があります。
 空欄部分は未確認という意味です。病徴空欄は無病徴という意味ではありません。

5. 微斑モザイク病と条斑病に対する品種抵抗性と微斑モザイク病の病徴発現部位

品種名	系統	強●◎○△×弱 抵抗性		明瞭+++，++，+，-+不明瞭 微斑モザイク病の病徴発現部位		
		微斑 モザイク病	条斑病	花 蕾退色斑	開花後増色斑	葉(黄化期) 退緑モザイク
アーチスト	V	×	●	+++	++	++
アーリー イエロー	T	×	×			++
アーリー グローリー	T	△	△	++	++	++
アーリー ライト	SE	○	○	++	++	
アイ キャッチャー	V	×	○	-+		++
アイクレリー エクセルサ	S	○	●			++
アイクレリー マキシマ	S	◎	●			
アイス ワンダー	DL	△	×	++		+
アイス フォーリス	T	×	◎			
赤い糸	T	◎	○			
茜(アカネ)	DL	△	×	++		+++
アキタ	L	×	×	++	+++	
アクイラ	DE	△	△			
アケラ	T	○	○		+	+
明日香	T	△	△	++	+	++
アスタ ニールセン	SL	△	○			++
アスペン	T	○	△			+++
アテラ	T	△	○	++	++	
アドレム	DH	△	×	++	++	++
アトランティス	SL	×	×	+++	+++	++
アドルノ	T	△	○	++	++	++
アニー シエルダ	T	×	○	++	++	
アバ	DE	△	×	++		
アビゲイル	DL	○	○			
アフケ	SE	△	○		++	
アブラ	T	○	△			
アプリコット インプレッション	DH	○	●			
アプリコット ビューティ	SE	×	△	++	++	
彩	SL	×	×	+++	+++	+++
アラジン	L	○	○			
アラジン レコード	L	○	×	+	++	
アラビアン ミステリー	T	◎	●			
アリアンス	DE	◎	○			
アリアンヌ	T	△	◎			
ありさ	T	●	◎		++	
アリビ	T	●	△			
アルカディア	DH	×	×			++
アルバート ヘイン	F	◎	●		+	
アルビノ	T	◎	×			
アルフレッド ハイネケン	T	◎	△			+
アルベラ	SL	△	◎		++	
アルベルティ	S	●	●			
アルマ	FR	×	○			
アルマーニ	T	×	△		+	+
アレキサンドラ (パレリーナ フリンジ)	LFR	△	○		+++	
アンクルトム	DL	△	◎			++
アンジェリケ	DL	×	×			+
アントラジェット	DL	△	×			++
アントラティカ	T	◎	×			+
イースター ムーン	F	△	×			+
イースタン パール	T	●	○			
イエロー エンブレ	F	×	×			++
イエロー クラウン	T	○	○			
イエロー キング	T	△	△			
イエロー スパイダー	LDL	×	×			++
イエロー ドーバー	DH	○	●			
イエロー ホッパー	V	◎	○			
イエロー ビューリシマ (イエロー プリシマ)	F	○	×			++
イエロー フライト	T	△	○			
イエロー ポンポーネント	DL	△	×			
イエロー マウンテン	DL	○	×			+
イニミダブル	L	×	×			+
イレ デ フランス (イル ド フランス)	SL	△	○	++	++	++
イレ デ オレンジ (イル ド オレンジ)	SL	○	○	++		
インサーパッサブル	SL	△	×	++	++	
インゼル	T	×	×	+		
インベリアル レッド	DH	●	●			
ウィッター	S	●	●			
ウィレムバン オレンジ	DE	△	×		++	
ウィローザ	DL	×	×	++	++	++
ウエステリア メード	SL	×	×	++	++	
ウエディング ベール	L	◎	○			

品種名	系統	抵抗性		微斑モザイク病の病徴発現部位		
		微斑	花	葉(黄化期)		
		モザイク病	条斑病	蕾退色斑	開花後増色斑	退緑モザイク
ウェバーズ パーロット	P	△	△			
ウェンディー ラブ	T	△	×			
ウルミエンシス	S	●	●			
エアー	P	×	○		+	+
エキゾチック バード	DH	○	×	++		++
エキゾチック パーロット	P	×	×	+		
エスケープ	T	×	×	++		+++
エスター	SL	×	○	++	++	
エディス エディー	T	●	◎			++
エビータ	DL	×	△			++
エンパイヤー ステート	DH	△	◎	++		++
オーケリアナ	S	×	×			
オーソリティー	G	○	○			
オーファニディアフラバ	S	○	●			
オール ゴールド	DE	○	○			
オスカー	T	△	△	++	++	++
オセロ	SL	●	○			
オックスフォード	DH	△	×	++		++
オックスフォード エリート	DH	△	×	++		++
オムニヤック	V	○	○			+
オラトリオ	G	×	○			
オリエンタル ビューティ	G	△	◎			
オリオールズ	DH	△	○	++	++	++
オリンピック	T	○	×	++	++	+
オリンピック ゴールド	DH	△	×			++
オリンピック フレーム	DH	△	×			++
オレンジ エンペラー	F	◎	●		++	++
オレンジ キング	SL	◎	◎		++	+
オレンジ サブライズ	T	◎	○			++
オレンジ トロント	G	◎	○			
オレンジ バルーン	DH	△	◎			+
オレンジ ビレッジ	SL	○	●	++	++	
オレンジ ファボリット	P			++		
オレンジ ブーク	SL	○	●		++	
オレンジ ブリーズ	T	○	○	+		++
オレンジ プリンセス	DL	◎	◎	++		+
オレンジ モナーク	T	○	×	+	++	+
オレンジ レディ	DL	×	×			++
カーディナル ミンセンティー	DE	△	×			
カーニバル デ ナイス	DL	×	×			
カーニバル デ リオ	T	△	△			
カーリースー	FR	○	×	++		+
カールトン	DE	△	○	++		
カイロ	T	○	×		+++	++
かがり火	SL	×	△			++
かぐや姫	SL	△	△			+
カストラップ	DL	○	×	++	++	++
カナスタ	FR	○	△		+	
カノーバ	FR	△	○		++	
カフェ ノワール	SL	○	△	+		++
カプリ	T	○	◎	++	++	
カポタ	T	●	●			
カム バック	DH	◎	×	++		++
かむろ	SL	×	△		+	
カラー スペクトル	SL	×	●	++		++
カラクテール	T	×	×			++
カラベラ (カラベル)	SL	○	×	++	++	++
カリブラ	FR	△	○	++	++	
カルガリー フレーム	T	×	△			
カルトッシュ	DE	×	○			
カロラ	T	×	×	++	++	
ガンダー	SL	●	○	++		+
ガンダー オバチュール	SL	●	△			
ガンダー ラブソティー	SL	●	○	++		+
黄小町	DH	◎	×			++
キッス	T	△	×			
キャサリン マリアテレサ	SL	●	○	++	++	+
ギャラン	DH	○	△			
キャンディー クラブ	SL	△	△	+		++
キャンディー プリンス	SE	△	○			
キャンデラ	F	○	●			++
キャンドル ライト	T	×	×	++	++	++
金華山	SL	△	×		++	++
金太郎	SL	△	△			++
銀杯	SL	○	○			
銀嶺	T	○	○			+++
クイーン オブ シバ (クイン オブ シバ)	L	○	△			

注意！！ 抵抗性の評価は今後変わる可能性があります。
 空欄部分は未確認という意味です。病徴空欄は無病徴という意味ではありません。

品種名	系統	抵抗性		明瞭+++，++，+，-+不明瞭		
		微斑		微斑モザイク病の病徴発現部位		
		モザイク病	条斑病	花	葉(黄化期)	退緑モザイク
クイーン オブ ナイト (クイーン オブ ナイト)	SL	×	△	+++	++	++
クイーン オブ マーベル (クイーン オブ マーベル)	DE	○	◎			
クイーンズランド	DFR	×	×		++	++
グースパペンドレヒト	T	●	○			
クミンズ	FR	×	○	++	+	
クラウディア	L	○	△			
クラウド ナイン	SL	△	×			
クラッカー	T	×	△			++
グランダ	DL	×	×			
グランデッサ	T	◎	×			
グランド スタイル	SL	○	×	++	+	
クリーム アップスター	DE	×	×			+++
クリーム フラッグ	T	○	△			
グリーン ウェーブ	P	○	×			++
グリーン ランド	V	△	△	++	++	
クリスタル ビューティ	FR	○	×	++		
クリスマス エキゾチック	V	○	○			
クリスマス キャロル	SE	◎	●			
クリスマス スイート	SE	△	◎			++
クリスマス ドリーム	SE	○	◎	++	++	+
クリスマス ドリーム ダブル	DE	△	◎		+-	
クリスマス マーベル	SE	○	◎			++
クレティカ	S	○	△			
グローバルデザイナー	DE	△	△			
グローブ	DL	×	×		++	+++
黒部川	SL			++	+	
クンフー	T	◎	×	++		+
ゲアンカ	T	○	○			
K-90	V	○	◎	++	++	
ケーンケンホーフ	S	△	●			++
ケース ネリス	T	△	△	++	++	++
ゲブランド キフト (ゲブランド ギフト)	DL	◎	○		++	
化粧桜	F	●	●			++
ゲリットVDフォルク	T	◎	△			++
恋茜	T	●	◎			
紅輝	DH	×	×	+++		++
ゴードン クーパー	DL	◎	◎		+	++
ゴールドン アペルドーン	DH	○	×			
ゴールドン エンバイヤステート	DH	○	●			++
ゴールドン オックスフォード	DH	△	○	+-		++
ゴールドン ディ	G	×	●	++		+
ゴールドン パレード	DH	○	×			
ゴールドン ブリジッタ	T	○	×			++
ゴールドン プレゼント	T	△	×			
ゴールドン メロディー (ゴールドン メロディ)	T	×	△			
ゴールド ダスト	FR	△	×			
ゴールド ベリル	T	△	△			
コーレア カーディナル	T	△	○			
コズミックダンス	FR	×	○			
コベックス	T	×	△		+++	++
コルチナ	SL	◎	△	++	++	++
コルパコウスキアナ	S	◎	◎			
コンクロー	DH	◎	●			
コンコース	T	×	×	++	++	++
コンプリメント	L	△	×	++	++	++
コンボステラ	G	◎	◎			
ザ・ファースト	SL	△	○			+++
サーモン インプレッション	DH	△	●			+
サーモン ジュエル	T	×	○		++	+
サーモン パーロット	P	○	△			+
サーモン ファン アイク	DH	×	×	++	+	
サキサテレス (サキサテリス)	S	○	●			
さちこ	T	×	△	++	++	++
サッポロ	L	×	×			++
サニー プリンス	SE	○	△			
サネ	L	×	◎			
サブプラエスタンス	S	●	◎			
サン ウィングス	SL	△	●	+++		+++
サン ラバー	DL	×	×			+++
シードフ	T	●	○			++
紫雲	T	◎	△			
シェーンパカー	L	○	○		++	
シティー オブ バンクーバー	SL	△	△			++

品種名	系統	強●◎○△×弱 抵抗性		明瞭+++，++，+，-+不明瞭 微斑モザイク病の病徴発現部位		
		微斑 モザイク病	条斑病	花 蕾退色斑	葉(黄化期) 開花後増色斑	退緑モザイク
シナエダ アモール	T	×	◎	+		+
シナエダ オレンジ	L	○	×		++	
シナエダ キング	L	○	△	+		
シナエダ サモーコ	T	●	○			
シナエダ ショー	L	×	×			++
シナエダ ブルー	T	○	◎			++
シモン	T	×	△	+++	++	+++
ジャイアント パーロット	P	△	△	++		++
ジャズ	L	△	△			
ジャクリーン	L	×	×	++	++	++
シャトー	DL	○	△			
シャルムール (シャムール)	T	◎	○			
ジャンボ ピンク	T	△	△	+ -	+++	
シュガー ラブ	T	△	△	+	++	+++
ジュディス レイスター (ジュデーレスター)	SL	○	×			++
ジュリエット	DH	△	△			
ジョゲッター	SL	×	○	++		++
ジョセップ ベルディ	K	△	○			
ジョン クリックシャンク	SL	△	○			
白雪姫	DH	●	●			++
シルベラド	SL	×	×			++
シレスタ	DE	×	×	++	+++	++
白ずきん	SL	△	○			
新拓	DL	×	×	+		++
スウィーティ	T	○	◎			++
スイート ハーモニー	SL	○	○			++
スイートハート	F	◎	●			
スーパー スター	T	△	×	+++		++
スカキット バレー	T	◎	○			
スター ゲーザー	T	●	◎			
ストライプベロナ	T	○	◎	++		+++
ストレッサー	K	△	○			++
ストロング ゴールド	T	●	○			
スノー スター	T	●	○			++
スノー レディー	T	△	×			++
スプリング	T	×	×	++	++	+++
スプリング グリーン	V	△	○			++
スプリング ソング	DH	◎	●	++		++
スプリング タイム	DH	○	◎	++		++
ズレル	T	△	×			
スワロフスキー	SL	△	×		+++	++
スワン ウイングス	FR	△	×			
セヴィラ	T	◎	○	++	++	
セクシーレディー	P	○	△			
ゼネラル アイゼンハワー	DH	○	×	++		++
ゼミス	SL	×	△			
センシャル タッチ	DFR	×	×		+ -	
セント ピーターズバーグ	T	○	△	++	+++	+
ソーゲツ	T	△	×		++	++
ゾロ	T	×	△	+++		++
ゾンビ	F	○	●			+
ダーウィン オレンジ	DH	○	○			++
ダイダイ (夕陽の波)	DL	×	○	++	+	
ダイナスティ	T	●	△			
タイフーン	L	△	○		+	
ダイヤモンド シャイナー	DH	●	×			++
タイリッゲン	T	○	△			
ダウンロー	DH	○	×	++	++	++
ダブル タッチ	DE	○	○			
ダブル レディー	DL	◎	○			
ダベンポート	FR	●	◎	++		
ダラス	FR	×	×	++	+	++
ダラディール (ダラディエ、ダラディア)	DL	○	×		++	++
タルダ	S	◎	●			
ダンシング ショー	V	○	◎			
チェース	T	×	△			++
チェロキー	T	×	×			++
チャーミング レディー (チャーミングレディ)	DL	×	×			++
チャイナ タウン	V	×	●		+	
チャイナ ピンク	L	×	△	+	++	
月浪漫	DH	×	△			+
ディディリー	S	×	×			
デイトナ	FR	◎	△			+
デイドリー	V	×	◎			++
ディプロメイト	DH	×	●	++		++
デザイン インプレッション	DH	△	●	+		++

注意！！ 抵抗性の評価は今後変わる可能性があります。
 空欄部分は未確認という意味です。病徴空欄は無病徴という意味ではありません。

品種名	系統	抵抗性		明瞭+++，++，+，-+不明瞭		
		微斑		微斑モザイク病の病徴発現部位		
		モザイク病	条斑病	花	葉(黄化期)	退緑モザイク
デンマ	T	×	×	++		++
テネシー	T	×	×	+++	++	
デンハルト	T	●	△			
テンブル オブ ビューティー	SL	△	○	++	++	++
ドールズ メヌエット	V	×	○	++	++	++
トスカ	SL	○	◎			
トスカナ	SL	△	△	++	+++	
ドッカム	T	×	●		++	++
トマル	DL	○	×	++		
トヨタ	SL	×	△	++	++	++
トランサビア	T	◎	△			++
ドリーミング メイド	T	△	×		++	
ドリーム ショー	T	×	◎			
トルケスタニカ	S	×	●			
ドルドーネ (ドルドーニュー)	SL	△	△		+++	
トレンドセッター	T	△	△	++	++	++
トロペザンツトープ	SL	×	×			+++
トロント	G	×	△	++		++
トンアングステン	DH	×	×	++		++
ナイトライダー	V	△	△		++	
ナイロビ	T	○	○	++		++
なごり雪(131号)	DLL	×	△			
虹の波(刹那)	DL	×	△		++	
ニュー デザイン	T	○	△	+	++	
ニンジャ	T	×	×			++
ネグリタ (ネグリター)	T	×	△	++	++	++
ネグリタ ダブル	DL	×	×		++	
ノランダ	FR	×	○	+++	++	
パーガンディー	L	×	×	++	+++	++
パーガンディー レース (パーガンデレース)	FR	○	△	++	++	
パーティータイム	FR	×	×	++	+	
パーミング ラブ	T	○	○		++	++
パープル スター	T	×	×	++	++	+
パープル フラッグ	T	○	×		+++	+++
パープル プリンズ	SE	△	△		+++	
パープル ワールド	T	△	×	++	++	++
バイオレット ビューティー	SL	×	△		+++	++
バイキング	DE	△	×	+		
ハウス テン ボス	FR	○	×			
パウルスケーレル	T	×	×	+++		
白雲	DH	○	×			+
ハゲリ (ハゲリー)	S	●	●			
バコ	T	○	×	++		
バシフィック パール	FR	×	△			++
バストーン	T	×	△	++	++	+++
バストーンズ パーロット	P	×	×	+++	+++	+++
パタリニ アプリコット ジュエル	S	◎	●			
初桜	DH	△	×	+		++
パッシュョナル	T	×	△	++	++	+++
ハッピー ジェネレーション	T	○	○			
ハッピー ファミリー	T	△	△	++	++	
パトリオット	T	×	×	++		+++
ハネムーン	FR	×	×			++
ハブラン	T	×	△	+		++
ハミルトン	FR	×	△			
バラード	L	●	○		++	
バラード ゴールド	L	○	△			++
バラード ホワイト	L	○	△			++
バラータ (パラダ)	T	△	△	+		++
バラライカ	SL	△	×	++	++	
ハリウッド	V	△	◎			
ハリウッド スター	V	×	●			++
春乙女	T	●	○			
春天使	T	○	○			
春のあわゆき	DL	○	×			
春の火まつり	DL	◎	○			
春万葉	SL	○	○			
バルバトス	FR	○	◎			
バレード	DH	○	×	++		
バレリーゲルギエフ	FR	○	◎			
バレリーナ	L	●	●		++	
バレリーナ フリンジ (アレキサンドラ)	LFR	△	○		+++	
バレンタイン	T	○	◎			

品種名	系統	強●◎○△×弱 抵抗性			明瞭+++，++，+，-+不明瞭 微斑モザイク病の病徴発現部位		
		微斑 モザイク病	条斑病	花 蕾退色斑	葉(黄化期) 開花後増色斑	退緑モザイク	
パロセロナ	T	◎	△	+	++		
パロネッセ	SL	△	×		+++		++
パン デン ベルグ メモリー	T	●	◎				++
パンジャルカ	DH	×	×	++			++
パンズ	FR	△	×	++	+++		++
ハンス ディクスタール	T	△	△				++
ハンス デイトリッヒ ゲンシャー	T	×	×				
ハンス メイヤー	DH	△	×				++
パンダイク	DH	○	×				++
ピーチ プロッサム	DE	×	×		++		++
ヒタチ	SE	×	×				++
ビック チーフ	DH	○	◎	+++	++		++
ビック スマイル	SL	△	◎				++
ピノキオ	G	○	×	++			
火の舞	DH	○	◎	++	++		++
ビビデンスキー	S	●	●				
ヒベルニア	T	×	×				+
白水園	T	●	×				++
ヒュー スパーブ	F	●	○				
ビューティ クイーン	SE	×	×	+++			+++
ピューリシマ (プリシマ)	F	○	×				+++
ピラント	F	△	●				
ピリチック	V	○	◎		++		
ピンク インブレスジョン	DH	○	●	++	++		+++
ピンク ダイヤモンド	SL	×	○	++	++		++
ピンク ツイスト	T	○	◎				
ピンクレディー パーロット	P	△	△	++	++		
ピンク フラッグ	T	○	×				
ピンパネル	V	△	◎	++			++
ファースト クラス	T	×	×	+			
ファッション	K	○	○				+++
ファルコン	T	△	△				+++
ファン アイク	T	△	×	++	++		++
ファンタジー	P	△	△	++	++		
フィデリオ	T	△	△	++	+++		
フィノラ	DL	×	×		++		+++
フェーバス	DH	×	×				+++
フェニックス メモリー	DH	×	△	++			
フェラーリ	T	○	△	+			
フォステリー キング	DH	●	○				
フォックス トロット (フォックスロット)	DE	×	×		++		+++
フォルモーザ	V	×	△		++		++
フザリノ	T	△	△	+	++		+
藤衣	T	○	○	++	++		
フライ アウエイ	L	×	○				+
フライシャー	G	×	△				++
ブライト レディ	L	×	×				
ブライト ピンク レディ	T	●	◎				
フライヤー	T	◎	×				+
ブラエスタンス (ブライスタンス)	S	◎	●				
(ブライスタンス パン テューネンベルグ パラエ ティ)	S	◎	●				
ブラエスタンス フィッシリア (ブライスタンス フィッシリア)	S	●	●				
ブラエスタンス ユニカム (ブライスタンス ユニカム)	S	●	◎				
ブラエスタンス ツァーネンブルグ (ブライスタンス ツァーネンブルグ)	S	◎	●				
フラスキータ	SL	○	×	++	++		++
ブラック パーロット	P	×	△	++			+
ブラック ヒーロー (夜の帝王)	DL	△	○	++	+		
ブラック ホース	SL	△	△	++			++
フラッシュバック	L	×	△				+++
ブラッシング アルドン	DH	×	×				+++
ブラッシング ガール	SL	×	×				+++
ブラッシング ビューティ	SL	×	○	++	++		+
ブラッシング フライド	SL	△	△				
ブラッシング レディ	SL	×	○	+			+++
フラミング パーロット	P	×	○	++			+
フラミング プリシマ	F	○	×				++
フラメンコ	FR	○	◎				
フランソワーズ	T	×	×				++
ブリオン	DH	○	●		+		

注意！！ 抵抗性の評価は今後変わる可能性があります。
 空欄部分は未確認という意味です。病徴空欄は無病徴という意味ではありません。

品種名	系統	抵抗性		明瞭+++ , ++ , + , -+ 不明瞭		
		微斑		微斑モザイク病の病徴発現部位		
		モザイク病	条斑病	花	葉(黄化期)	退緑モザイク
フリシマ (ビューリシマ)	F	○	×			+++
ブリティ ウーマン	L	◎	◎			
ブリマ ビスタ	T	△	◎	+++		
ブリマベラ	T	×	×	+++	+++	+++
フリンジッド ファミリー (フリンジッドファミリー)	FR	△	△	++	++	++
フリンジッド エレガンス (フリンジッドエレガンス)	FR	×	×			++
プリンス オブ ミッポン	T	○	△	++		+
プリンス クラウス	DH	△	×			++
プリンセス ビクトリア	T	○	○	++	++	+
プリンセブス	F	●	●			
ブルー エイマープル	SL	△	△		++	++
ブルー ダイヤモンド	DL	◎	◎			++
ブルー チャンピオン	T	◎	◎			
ブルー ビューティ	T	×	×	++	++	
ブルー リボン	T	○	△	++		++
ブルケラ イースタンスター	S	×	●			
ブルケラ オダリスク	S	◎	●			
ブルケラ ピオラセラ	S	◎	●			
ブルケラ フミリス	S	×	●			
ブルケラ ベルシアンパール	S	●	●			
ブルケラ リトルジョイ	S	×	●			
ブルケラ リトルビューティ	S	×	●			
ブルケラ リトルプリンセス	S	×	●		++	
フル ハウス	T	△	●		+	++
フレール (フレアー)	SE	●	◎			
フレンドシップ	T	◎	○			
フレミング スプリンググリーン	V	△	△			
フレミング フラッグ	T	◎	○			
フレルデューム	T	○	△	++	++	++
フレンダ	T	×	×	+++		+
プロット キング	P	○	△			++
プロテクター スポート	T	◎	◎			++
プロフェッサー レントゲン	P	◎	×	++	+	
フロローサ	V	×	×	++	++	
ページ ボルカ	T	△	△			++
ベスト セラー	SE	×	×	++		++
ベチコート	FRDL	×	×	++	+	++
紅獅子	DE	○	×	+		
紅姿	SL	×	○	++		
紅ずきん	SL	◎	○			
紅豊	SL	△	×	++	++	++
ヘミスフィア	T	×	×			++
ベルソング	FR	○	△		+	
ベルフラワー	FR	△	×	+	++	
ヘルマー	T	△	△	++		++
ヘルミオーネ	DL	×	×			+
ヘルミタージ	T	△	◎			
ベレストロイカ	SL	×	○			+
ペロナ	DE	×	×			
ペロニカ	T	○	◎	++	++	
ペン パン ザンテン	T	◎	△	++		++
ホアゴ	DE	○	○			++
ホーランドイア	T	◎	○			++
ホーランド クイン	T	○	△			
ホーランドチック	L	△	×		++	
ホーランド ハブニング	P	×	×	++	++	+++
ホーランド ビューティ (ホーランドビューティ)	T	×	×	+++	+++	+++
ホーランド プリンセス	DL	×	×			
ホーランド レコード	T	○	×			
星のささやき	L	△	×		+++	++
ポストン	T	△	△			+++
ホッカス ポッカス	SL	○	◎		++	
ボナンザ ヨールド	DL	△	●		++	+
恋の炎	L	○	△			
ホフストラ ユニバーシティ	SL	×	×			++
ホリゾン	DL	×	×	++	++	
ホルダーボーイ	T	×	●	++		+
ホワイト エレガンス	L	△	×			
ホワイト ドリーム	T	×	×			+++
ホワイト ハート	DL	△	○			
ホワイト フライト	T	●	○			
ホワイト フラッグ	T	◎	×			
ホワイト ガンダー	T	●	◎			
ホワイト トランアンフォータ	L	△	△			

品種名	系統	強●◎○△×弱 抵抗性		明瞭+++，++，+，-+不明瞭 微斑モザイク病の病徴発現部位		
		微斑 モザイク病	条斑病	花 蕾退色斑	葉(黄化期) 開花後増色斑	退緑モザイク
ホワイト パーロット	P	◎	△			
ボンジュール	T	○	△			
マーキス	T	○	○		+++	++
マイスナー ポーゼラン	SL	△	○			++
マウリーン	SL	△	△			
マウント タコマ	DL	◎	◎			+
マウント フジ	T	●	◎			
マギール	SL	○	×	++		++
マジョレーン (マジョリオン)	L	○	△	++	++	+
マテニパイル (マーチン パイル)	T	△	×	++	++	
マヤ	FR	△	×	++		
マラソン チャンピオン	T	●	△			
マリエッタ	L	△	△	++	++	
マリーレーン (マリーレン)	L	△	△			++
マルガリータ	DL	○	◎	++	++	++
マルカント	T	○	◎			
マレーシア	T	×	●			
ミス エレガンス	T	○	×	+	+++	
ミスティック ファンアイク	DH	×	×	+	++	
ミストレス	T	×	×	++	++	+++
ミセス JT シーパース	SL	△	×			
ミッキー マウス	T	○	●			
ミラノ	SL	△	○			
ミランダ	DL	◎	×	++		
ムーンシャイン	L	●	△			
紫水晶	SL	△	○	++	++	++
紫の君	SL	△	○	++	++	++
メイワンダー	DL	×	△	-+		
メラビ	T	×	○	++		+++
メリー ゴーランド	T	●	○			
メリー クリスマス	SE	○	●	++	++	++
メリー ウィドー レコード	T	×	○	++	++	++
メントン	SL	△	△	++	++	++
モナムール	DFR	○	△			+
モナ リザ	L	○	△	++		++
桃太郎	DH	●	●			
モンセラ	DE	○	○			
モンテ カルロ	DE	△	△	-+		++
モンテアル (モンディアル)	DE	△	△			
モンテ スウィート	DE	×	×			
モンテ スパイダー	DE	×	×			
モンテ ビュー	DE	×	×			++
モンペリエ	SL	○	△	++	++	++
ヤン バン ザンテン メモリー	L	×	△	++	++	
ヤン バン ネス	T	△	×			
ヤンルース (ヤン レウス)	T	●	○			++
ユアン	F	●	●		++	++
由子	T	●	○	+	++	++
夕月	SL	○	○			
夕陽の波 (ダイダイ)	DL	×	○	++	+	
ユカタン	FR	×	×		+++	
雪壺	T	△	△			++
ゆめ (K-70)	V	○	○	-+		
夢の紫	L	○	◎	++		
ユーリ ドルゴルキー	L	×	△		+	
楊貴妃	L	×	○	++	++	
ヨコハマ	SE	△	△			++
夜桜	DH	○	×	++	++	++
ヨツフル	SE	◎	◎			
ヨニナ	L	×	×	++	++	
ヨハン シュトラウス	K	◎	◎			
ライティング サン	DH	○	●			
ライラック キャップ	T	◎	○			++
ライラック パーフェクション	DL	○	○			
ライラック レディ	FR	○	△	++	++	
ラウラ ジョイス	T	△	△	++	++	
ラ カールティーン	SL	×	△			
ラッキー ストライク	T	×	△	++	++	++
ラドガ	T	×	×	+	++	
ラリベラ	DH	△	×	++		+++
ラルゴ	DE	△	◎			
ランバダ	FR	△	○	++	++	
ランジェリー	FR	×	○			

注意！！ 抵抗性の評価は今後変わる可能性があります。
空欄部分は未確認という意味です。病徴空欄は無病徴という意味ではありません。

品種名	系統	強●◎○△×弱 抵抗性		明瞭+++，++，+，-+不明瞭		
		微斑		微斑モザイク病の病徴発現部位		
		モザイク病	条斑病	蕾退色斑	花 開花後増色斑	葉(黄化期) 退緑モザイク
リディア (リデア)	T	○	×			++
リビエラ	T	○	◎	++	+	
リブレット パーロット	P	◎	△			
隆貴	SL	△	●	++	++	+++
リリーローサ	L	×	○		++	+++
リロ ピンク	T	×	×	++	+	
ルーブル	FR	×	×	+	+	
ルーレット	T	○	◎		++	++
ルバト	DH	◎	●	+		
ルビー プリンス	SE	×	○			
レインボー	SL	×	○	++		++
レーン バン デル マーク (レーン・バンデ・マーク)	T	×	○	++	++	++
レオ フィッシャー (レオフィッシャー)	T	●	◎	++		++
レクソーナ	T	○	×	++	++	
レクレアード	SL	×	×	++	+++	++
レデッサ	FR	×	△	+		+++
レッド インブレスジョン	DH	×	●	++		++
レッド ウイング	FR	○	◎	+	+	+
レッド エンペラー (マダム レフェバー)	F	○	●			
レッド ジョゲッティ	SL	○	◎	+		
レッド スプリンググリーン	V	×	○			
レッド パード	F	◎	●			
レッド パーロット	P	×	×	++		++
レッド パワー	T	×	×	+++		+++
レッド ファボリット	DH	◎	●	+		
レッド フル	T	×	×	++	++	+++
レッド マタドール	DH	○	×	++	+	+++
レッド リーデング フッド	G	×	○		++	
レディ マーゴット	T	○	○			+++
レフェバース メモリー (レフェーバス メモリー)	DH	●	△			++
レムズ ファボリット	T	△	△			
レモン アイス	T	◎	○			
ロイヤル エレガンス	FR	×	×			+++
ロイヤル デザイン	L	△	×		++	
ロイヤル テン	T	×	△	++		
ロイヤル バージン	T	×	◎			
ロイヤル バンデマーク	T	○	○			
ロイヤル マスター	T	×	×	+++	+	++
ローズィ ウィングス (ローズウィングス)	SL	△	●	++	++	+++
ローズ ビューティ (ローズ ビューティ)	T	◎	△	++	++	++
ローズ フラッグ	T	○	△			
ロココ	P	○	◎	++		
ロサンゼルス	T	◎	◎		+	
ロッキー マウンテン	T	◎	×			+++
ロナルド	T	△	△	++		++
ロンド	F	×	●	++		++
ワース	FR	△	△	+	+	
ワールド エクスプレッション	SL	△	△	+		
ワールド ファボリット	DH	△	×	+	++	++
ワイルドホフ (ワイルドホーフ)	T	○	△			
ワシントン	T	×	△			
綿帽子	DH	●	○			